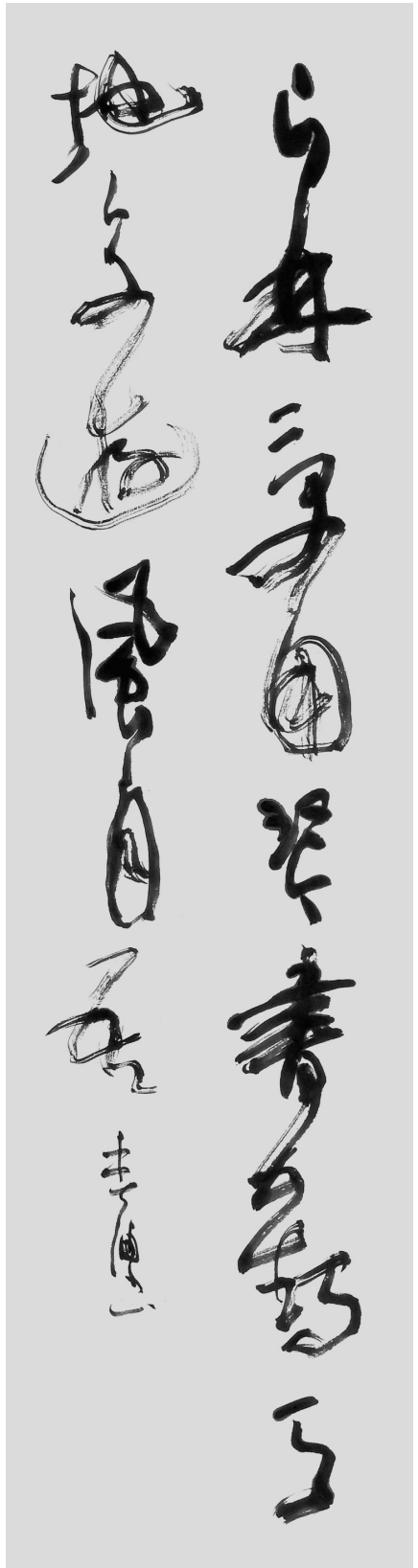


7月25日正午必着

明石春浦先生書



山林受用琴書鶴

天地交遊風月吾

(葉 菌)

琴・書・鶴は山林の楽しみになくってはならぬもの。天地間の友は、風と月と吾。

明石幸子書



草むらの底に螢のかげ見えて 露は葉のぼる 夕暮の庭 (松平定信)

草叢の底の方に、螢のかすかな光が見えて、露が草葉にのぼってくる夕暮れの庭であることよ。

夏夜二三更 竹露滴柴扉
 西舍打白鼾 三徑宿草滋
 蛙聲遠還近 螢火低且飛
 寤言不能寢 撫枕思淒其
 且我狂心不能寐 枕魚海月。空穗。

西 墨濤先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

蘭池清夏氣（范蔚宗）

蘭池は夏氣清し

蘭のある池は夏の気も清らか。

月遷花影犬無吠
風舞棠陰鶴自行（吳仲孚）

月花影を遷すも犬の吠ゆる無く
風棠陰に舞て鶴目ずから行く

竹の影が月に動いても、犬は吠えない。風が棠陰を吹いても鶴は平気で歩いている。

江行（李咸用）

江行 李咸用

瀟湘無事後 征棹復嘔啞

瀟湘 無事の後 征棹 復た嘔啞たり

高岫留殘照 歸鴻背落霞

高岫 殘照を留め 歸鴻 落霞に背く

魚依沙岸草 蝶寄汙流槎

魚は砂岸の草に依り 蝶は汙流の槎に寄す

共說干戈苦 汀洲減釣家

共に説く 干戈の苦 汀洲 釣家を減す

我が行くは眞日照りひかる 白き路しばし 佇み眼をつむりなむ（窪田 空穂）

無
如
衆
藝
云
盡

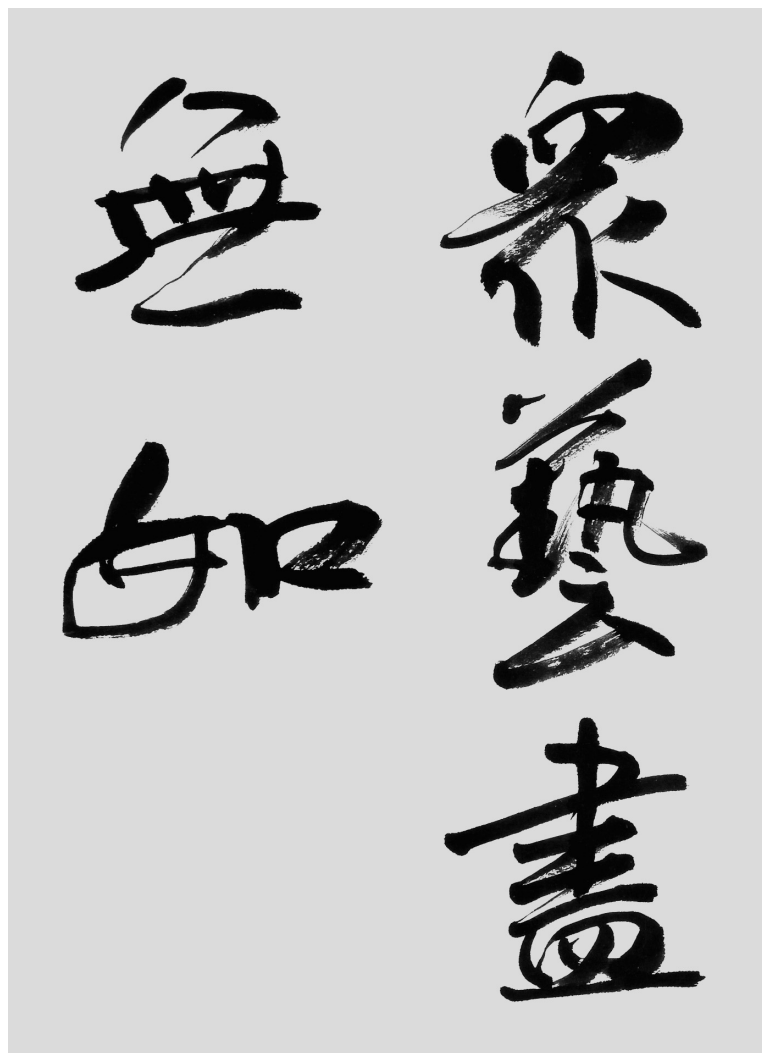
※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

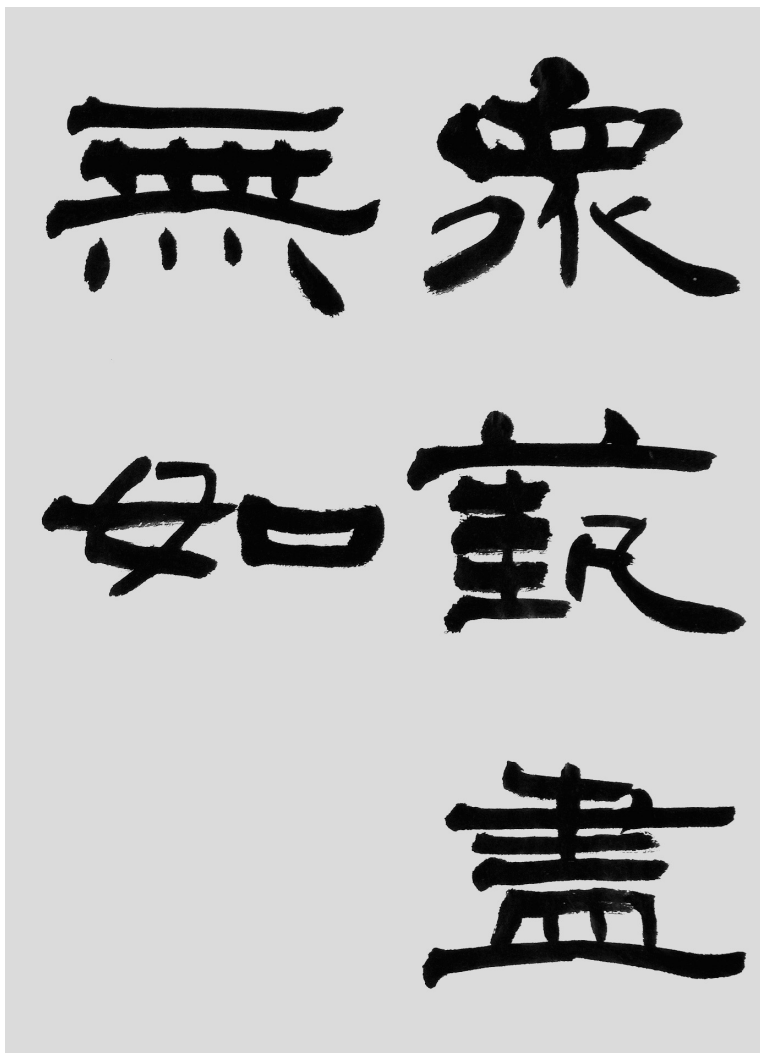
※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



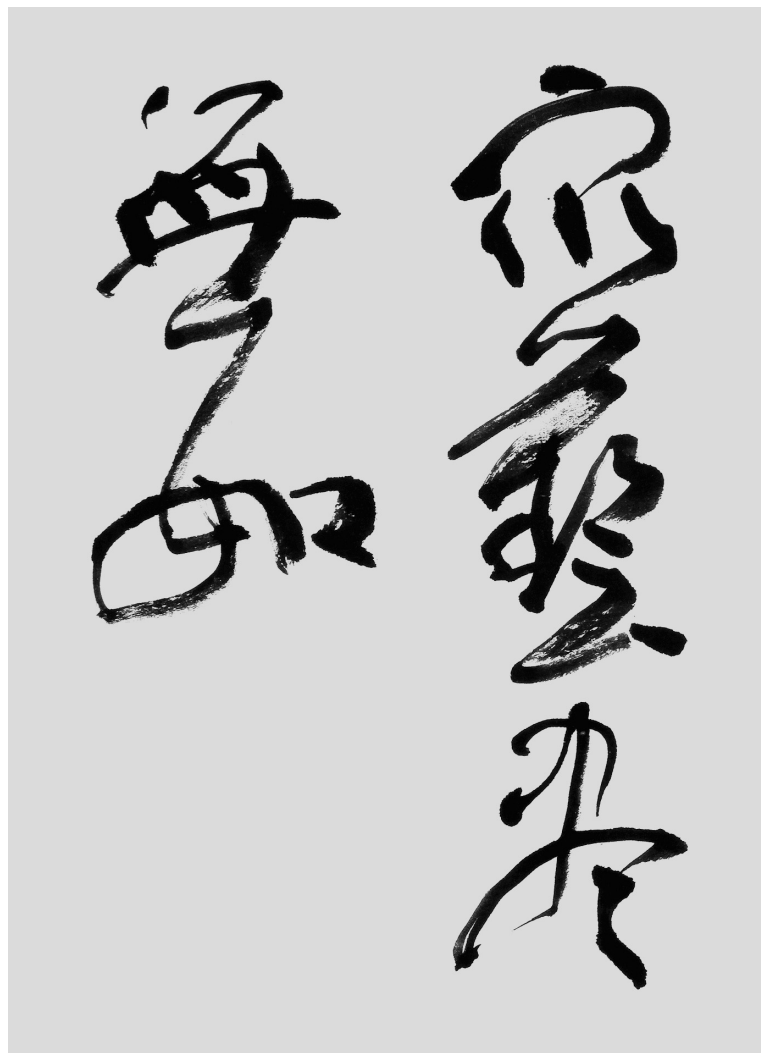
草書



行書



隸書



行草書



篆書

送曹椅 司空曙

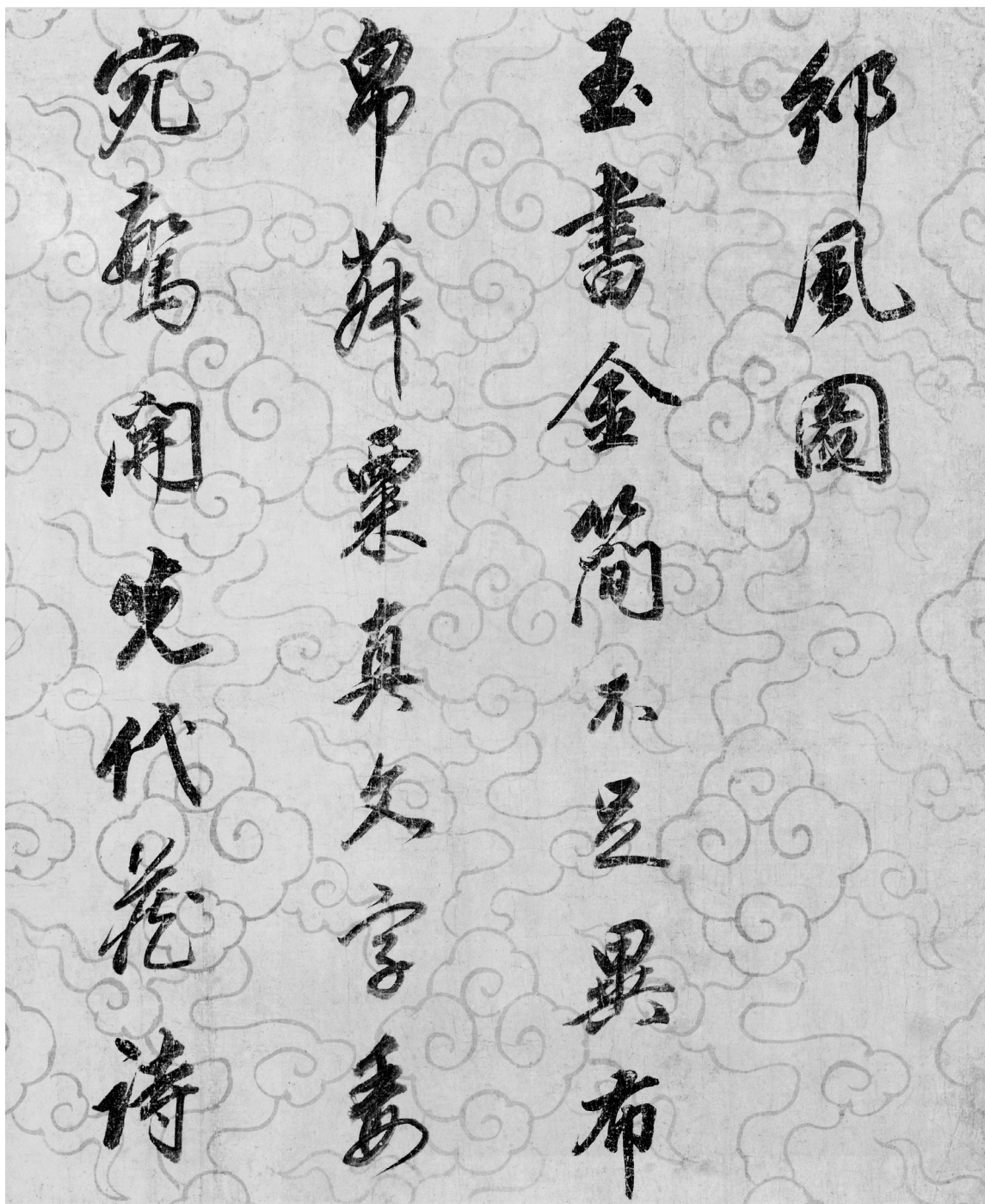
青春三十餘
 衆藝盡無如
 中散詩傳畫
 將軍扇賣書
 楚田晴下雁
 江日暖多魚
 惆悵空相送
 歡遊自此疎

曹椅を送る 司空曙

青春三十餘
 衆芸 尽く如く無し
 中散の詩は画を伝え
 將軍の扇は書を売る
 楚田 晴れて雁を下し
 江日 暖かくして魚多し
 惆悵として 空しく相送る
 歡遊 此れ自ら疎ならん

齡三十余りの若さを以て 諸芸はみな及ぶものがない
 嵇康のごとく、その詩は絵画に描かれて伝えられ 王羲之のごとく、扇に書かれた文字が売られる
 楚の地の田野は晴れわたって雁が下りたち 江のほとりに日は暖かく、魚が数多く泳いでいる
 悲しみ嘆きつつ、さびしく君を送る これからは楽しく遊ぶことはめったになかろう

7月25日正午必着



郊風圖。玉書金簡不足異。布帛莽粟真文字。委宛驚開先代藏。詩（中）
 郊風圖。玉書 金簡 異とするに足らず、布帛 莽粟 真文字。委宛として驚き開く先代の蔵、詩中



玉書 金簡 異とするに足らず、布帛 菴粟 真文字。



玉書 金簡

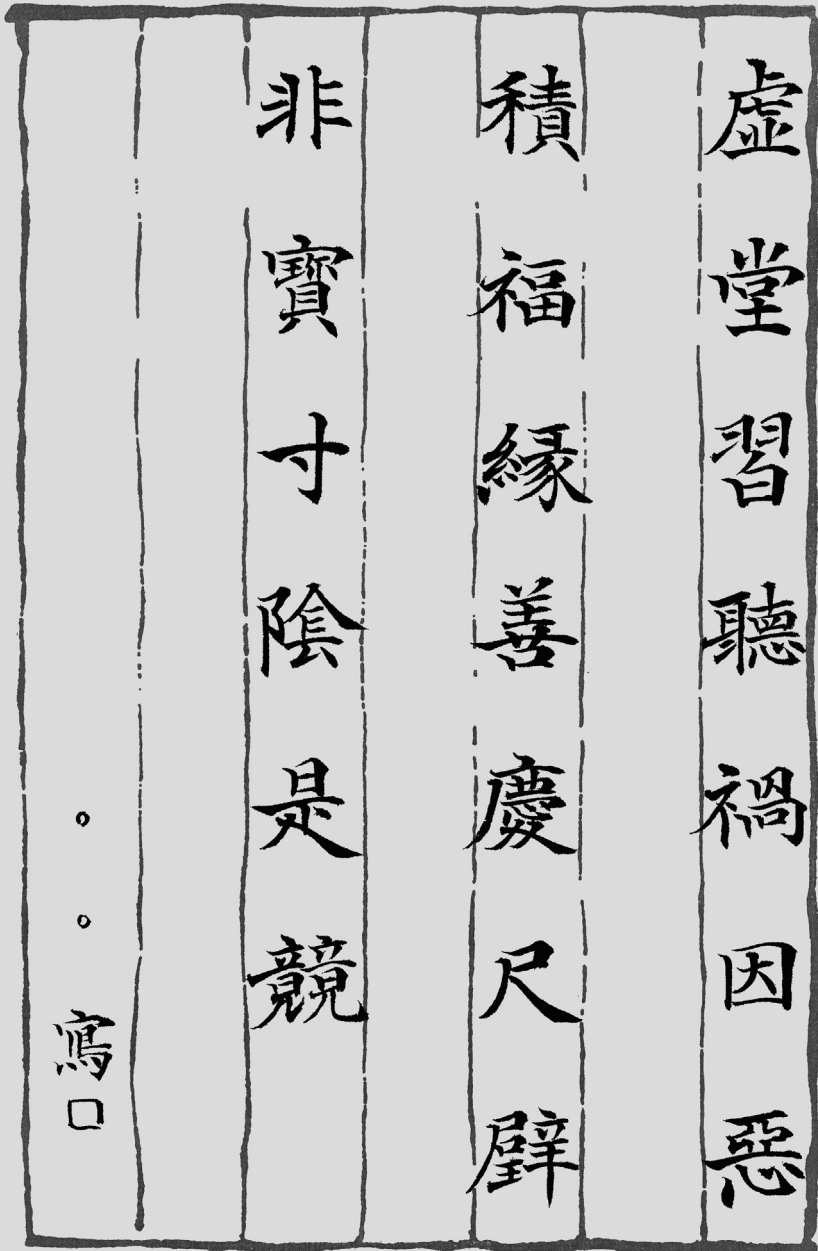
明 董其昌 邠風圖詩卷

董其昌（嘉靖三十四年～崇禎九年・一五五五年～一六三二年）字は玄宰、思白・思翁・香光と号し、文敏と諡された。江蘇省松江吳華亭の人。中国明代末期に活躍した文人であり、特に書画に優れた業績を残した。

萬曆十七年（一五八九年）に科挙に合格し、翰林院庶吉士に選ばれ、その後次第に高官にのぼりつめ、ついには礼部尚書（中央行政機関の長官）に任命された。

彼の書は、はじめ法帖や碑文で顔真卿・鍾繇・王羲之に学び、歴代名家の真蹟を見てからは、書の神髄は真蹟によらねばならないと悟り、徹底してその臨模に努め、自己の体を確立していった。形似を追わず、精神を把握することに主眼を置き、みずから率意に秀色を得ていると自負し、天真爛漫の妙を目指したとされ、ことに米芾の影響を受けたと言われている。

この書は、宮中に蔵する趙孟頫の邠風図を見て書いたもので、董其昌六十七歳にあたる。（春濤）



玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550 | 税込、送料別）

西 墨濤先生書

暑き日の夕がた
 まけてくさると
 土ふむうれし
 この庭にして
 (古泉千樞)

暑き日の夕がた
 まけてくさると
 土ふむうれし
 この庭にして
 (古泉千樞)



松永翠舟先生書

暑き日の夕がた
 まけてくさると
 土ふむうれし
 この庭にして
 (古泉千樞)

※まけて…その時期を待って



しまのこども
島の子供

中学一年

雨宮春聲先生書



ほくとしちせい
北斗七星

中学二三年

菅井松雲先生書

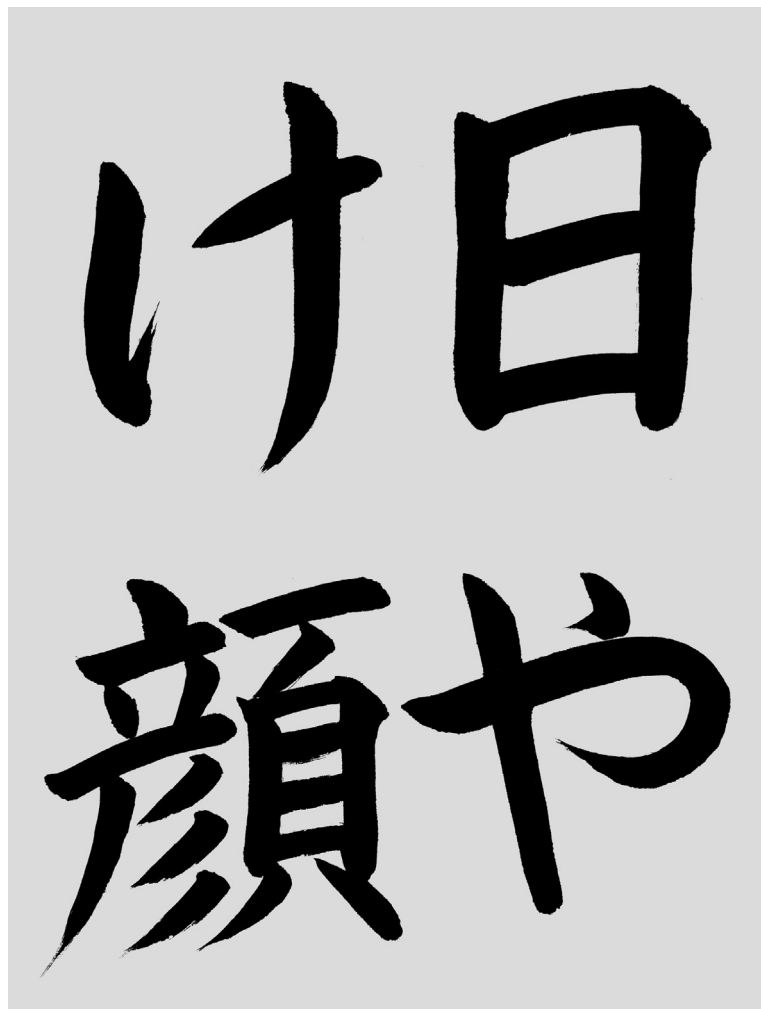
※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



なみ
波しぶき

小学五年

榎戸春龍先生書



ひ
日やけ顔

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

7月25日正午必着



か き ^{ごおり}氷

小学三年

藤田幸春先生書

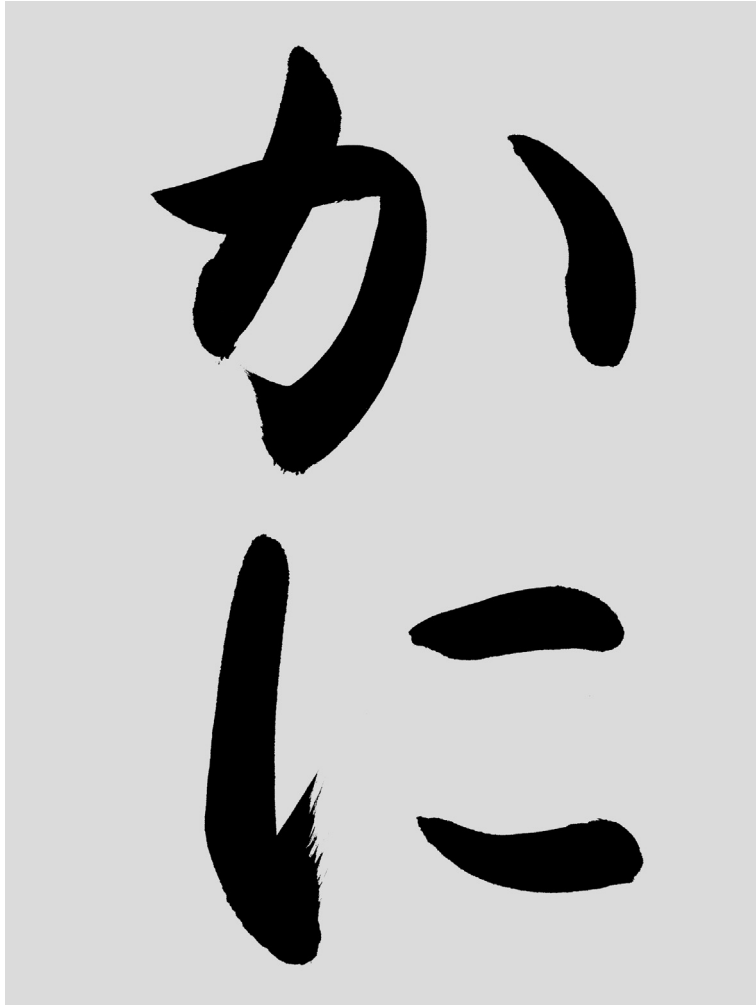


ゆ り の ^{はな}花

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

か に 小学一年・幼年



森戸春濤書

メ ロ ン 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

きれいな海が見お
ろせる小高い公園

小学五年

科学の発展のために
力をつくす学者たち

小学六年

青い波のようによ
れる朝のなみ木道

中学

人生は自分にも他人に
も寛大になれると教える

一般(級位)

山はなつを散る里に
山ほととぎす響もなむかも

一般(段位)

たちはなの花散る里に通ひなば山ほととぎす響もなむかも(読人しらす) ※響もす：鳴り響かせる。

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

を	か
	わ
つ	で
り	
ま	さ
し	か
た	な

幼 年

に	大
	き
か	な
か	ふ
る	ん
に	す
じ	い

小学一年

つ	す
け	な
た	は
小	ま
さ	で
な	
貝	み

小学二年

ま	や
れ	し
た	の
	木
南	に
の	か
島	こ

小学三年

ど	ヨ
む	ッ
ぼ	ト
う	で
け	太
ん	平
者	洋
た	に
ち	い

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。